



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社 丸運
 コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 市原 豊
 (氏名) 住吉 彰
 配当支払開始予定日

TEL 03-6861-3411
 平成25年12月4日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 23,738 | 1.0 | △280 | — | △259 | — | △289 | — |
| 25年3月期第2四半期 | 23,492 | △1.2 | 134 | △69.3 | 159 | △67.5 | △57 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △169百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △195百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | △10.01 | — |
| 25年3月期第2四半期 | △1.98 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|---|----------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 39,755 | — | 18,600 | — | 46.3 | — | 636.90 | — |
| 25年3月期 | 40,482 | — | 18,843 | — | 46.1 | — | 645.35 | — |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 18,402百万円 25年3月期 18,646百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 25年3月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 26年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 4.00 | 7.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 48,000 | △0.8 | 370 | — | 370 | — | 30 | — | 1.04 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 26年3月期2Q | 28,965,449 株 | 25年3月期 | 28,965,449 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 26年3月期2Q | 72,047 株 | 25年3月期 | 71,882 株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 26年3月期2Q | 28,893,484 株 | 25年3月期2Q | 28,893,867 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、平成25年10月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明感がみられるものの、日銀による金融緩和策等により株高・円安が招来され、着実に景気回復へ向かう道のが見られるようになりました。

陸運業界においては、景気が徐々に回復に向かっていることから建設関連貨物及び消費関連貨物の輸送量に伸びが見られますが、顧客の生産拠点の海外移転等により生産関連貨物が減少したことから、全体としてわずかに増加しました。一方円安に伴い燃油費が上昇し、同業者間競争等によって依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況下にあつて、当社グループは石油輸送事業に於ける安全管理体制の再構築、貨物輸送事業に於ける物流品質の標準化や物流センターの一部再編によるコスト競争力の強化及び新規荷主の獲得、国際貨物事業に於ける中国拠点の業容拡大に注力することで業績回復に努めました。また、流通貨物事業に於いては、合弁による低温物流事業の営業力強化や運営コストの削減に努めると共に、3PL事業では受託契約条件の変更に取り込んだものの実現できず事業撤退しました。

これらの結果、貨物輸送事業部門・液体輸送事業部門の減収はあったものの、流通貨物事業部門、国際貨物事業部門の増収により、営業収益は前年同期に比べ2億45百万円増収の237億38百万円となりました。経常損益は、流通貨物部門の契約解除に伴う一時的な費用も含めた損失により、2億59百万円の損失となりました。また、特別損失として一部物流センターの売却に伴う減損損失や流通貨物部門における契約解除に伴う特別退職金を計上したことから当第2四半期純損益は、2億89百万円の損失となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

貨物輸送

当部門の主力である一般貨物輸送・倉庫事業については、羽田京浜物流センターの稼働による取扱量の増加はありましたが、生産関連貨物輸送量が減少しており、既存顧客の掘り起こしに努めたものの、取扱貨物輸送量は減少しました。

鉄道利用運送においては、新規顧客獲得に努めたものの、大口荷主の取扱量が大幅に減少したことにより、全体的に貨物取扱量は減少となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期に比べ2.7%の減収となりました。

経常利益は物流センター補修費用が嵩んだこと及び営業収益の減少に伴い前年同期に比べ1億27百万円減益の1億77百万円となりました。

流通貨物

当部門の主要事業である合弁による低温物流事業については、複数の新規顧客を獲得し営業収益は前年同期と比べ大幅に拡大しました。一方3PL受託事業については、当第2四半期末で契約を解除しました。

これらの結果、営業収益は前年同期に比べ46.3%の増収となりました。

経常損益は3PL受託事業の不振及び契約解除に伴う撤退費用等により前年同期に比べ3億46百万円悪化し5億54百万円の損失となりました。

液体輸送

当部門の主力である石油輸送については、石油製品の需要が減退していることにより輸送量が減少しました。

化成品輸送については、新規顧客の獲得等により長距離輸送が増加しました。

これらの結果、営業収益はほぼ前年同期並みとなりました。

経常利益はコスト削減等により前年同期に比べ26百万円増益の74百万円となりました。

国際貨物

当部門においては、電子材料関係の輸出が増加したこと、また第1四半期から中国の在外子会社1社を連結の範囲に含めたこともあり、営業収益は前年同期に比べ8.3%の増収となりました。

経常利益は、連結子会社が増加したことにより前年同期に比べ4百万円増益の39百万円となりました。

当第2四半期（累計）セグメント別の営業収益及び経常利益は次のとおりです。

| セグメント | 営業収益（百万円） | 前年同期比（％） | 経常利益（百万円） | 前年同期増減額 （百万円） |
|-------|-----------|----------|-----------|------------------|
| 貨物輸送 | 12,559 | 97.3 | 177 | △127 |
| 流通貨物 | 1,351 | 146.3 | △554 | △346 |
| 液体輸送 | 7,115 | 99.6 | 74 | 26 |
| 国際貨物 | 2,606 | 108.3 | 39 | 4 |
| その他 | 105 | 100.1 | 3 | 24 |
| 合計 | 23,738 | 101.0 | △259 | △419 |

- (注) 1. その他はビル賃貸、保険代理店及び各報告セグメントに分配していない全社収益・費用の純額等であります。
 2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
 3. 本年実施した組織再編に伴い、事業セグメントを上記のとおり変更し、前年同期比については、前年同期実績値を変更後の区分に組み替えて行っております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は397億55百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べ7億27百万円減少しました。

このうち、流動資産は88億94百万円となり、4億43百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の減少4億49百万円であります。また、固定資産は308億42百万円となり、2億75百万円減少しました。この主な要因は、有形固定資産の減価償却が進んだことに伴う減少等によるものであります。

当第2四半期末の負債合計は211億54百万円となり、前期末に比べ4億84百万円減少しました。

この主な要因は、借入金の増加が1億67百万円ありましたが季節差による営業未払金の減少3億14百万円、納税による未払法人税等の減少1億14百万円であります。

純資産合計は186億円となり、前期末に比べ2億42百万円減少しました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加が1億19百万円ありましたが、株主配当による利益剰余金の減少86百万円及び当第2四半期純損失が2億89百万円になったこと等によるものであります。この結果、純資産合計は減ったものの、総資産も減った為に自己資本比率は前期末の46.1%から46.3%と増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,092 | 1,642 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 6,161 | 5,894 |
| 有価証券 | 30 | 30 |
| 商品及び製品 | 5 | 5 |
| 原材料及び貯蔵品 | 38 | 44 |
| その他 | 1,014 | 1,280 |
| 貸倒引当金 | △5 | △3 |
| 流動資産合計 | 9,337 | 8,894 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 7,391 | 7,147 |
| 土地 | 18,335 | 18,288 |
| その他（純額） | 2,351 | 2,263 |
| 有形固定資産合計 | 28,078 | 27,699 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 204 | 217 |
| 投資有価証券 | 2,114 | 2,269 |
| その他 | 809 | 742 |
| 貸倒引当金 | △89 | △86 |
| 投資その他の資産合計 | 2,835 | 2,925 |
| 固定資産合計 | 31,118 | 30,842 |
| 繰延資産 | | |
| 繰延資産合計 | 27 | 18 |
| 資産合計 | 40,482 | 39,755 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 4,139 | 3,824 |
| 短期借入金 | 4,653 | 5,215 |
| 未払法人税等 | 199 | 85 |
| 賞与引当金 | 578 | 561 |
| その他 | 2,310 | 2,061 |
| 流動負債合計 | 11,880 | 11,749 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,423 | 4,029 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,390 | 2,387 |
| 退職給付引当金 | 2,193 | 2,238 |
| 役員退職慰労引当金 | 53 | 41 |
| その他 | 698 | 709 |
| 固定負債合計 | 9,759 | 9,405 |
| 負債合計 | 21,639 | 21,154 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,559 | 3,559 |
| 資本剰余金 | 3,077 | 3,077 |
| 利益剰余金 | 9,375 | 9,018 |
| 自己株式 | △20 | △20 |
| 株主資本合計 | 15,991 | 15,634 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 431 | 550 |
| 土地再評価差額金 | 2,223 | 2,217 |
| 為替換算調整勘定 | — | △1 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,654 | 2,767 |
| 少数株主持分 | 196 | 198 |
| 純資産合計 | 18,843 | 18,600 |
| 負債純資産合計 | 40,482 | 39,755 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業収益 | 23,492 | 23,738 |
| 営業原価 | 22,194 | 22,823 |
| 営業総利益 | 1,298 | 915 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,164 | 1,195 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 134 | △280 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 28 | 30 |
| その他 | 66 | 44 |
| 営業外収益合計 | 95 | 75 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 41 | 41 |
| その他 | 28 | 12 |
| 営業外費用合計 | 70 | 53 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 159 | △259 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 28 | 54 |
| その他 | 12 | 1 |
| 特別利益合計 | 41 | 55 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 42 | 36 |
| 減損損失 | 11 | 80 |
| その他 | 40 | 51 |
| 特別損失合計 | 94 | 168 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 107 | △372 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 137 | 67 |
| 法人税等調整額 | 35 | △152 |
| 法人税等合計 | 173 | △84 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △66 | △287 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △8 | 1 |
| 四半期純損失(△) | △57 | △289 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △66 | △287 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △129 | 119 |
| 為替換算調整勘定 | — | △1 |
| その他の包括利益合計 | △129 | 118 |
| 四半期包括利益 | △195 | △169 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △186 | △171 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △8 | 1 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。